

第37回 近畿作業療法学会

The 37th Kinki Occupational Therapy Congress



作業を考える

～クライアントにとっての意味とは～



会 期 ● 2017年 10月 1日(日)

会 場 ● 奈良県文化会館

主 催 ● 近畿作業療法士連絡協議会

担 当 ● 一般社団法人 奈良県作業療法士会

学会長 ● 東 條 秀 則 医療法人鴻池会 秋津鴻池病院



第37回近畿作業療法学会

当日参加

申し込み用紙

お願い

- 予めご記入の上、当日申込の受付にてご提出ください。
- 下記の該当する□にチェックをお入れください。
- 事前参加申し込みは9月20日(水)正午までとなっております。

☐ 会員 OT 日本作業療法士協会会員 近畿2府4県の各作業療法士会会員 事前申込 <u>4,000円</u> (抄録代込み) 当日申込 <u>5,000円</u> (抄録代込み)	☐ 非会員 OT 左記に該当しない 作業療法士 <u>10,000円</u> (抄録代込み)	☐ 他 職 種 <u>5,000円</u> (抄録代込み)	☐ 学生・一般 <u>1,000円</u> (抄録代別) 抄録のご購入は受付まで お申し出ください。 (抄録代 <u>1,000円</u>)
ふりがな 氏 名		会員番号	
勤 務 先			
士 会 名			

事前申し込みがお済みの方へ

当学会の事前参加申込にご登録頂き、誠にありがとうございます。

総合受付では、各府県別に受付を設けております。所属府県士会の受付にて、会員番号とご氏名をお伝え頂き、事前申込参加費4,000円をお支払いください。参加証兼領収書および日本作業療法士協会の生涯教育ポイントシール、ネームホルダーをお渡し致します。参加証にご氏名と所属をご記入のうえ、ネームホルダーにお入れ頂き、会場にお入りください。

ご 注 意

- 近畿2府4県の各作業療法士会所属の方は、日本作業療法士協会会員証をご持参・ご提示頂きますよう、お願い申し上げます。会員証のご提示が無い場合は、非会員扱いとなりますので、予めご了承ください。
- 近畿2府4県の各作業療法士会の会員、かつ学生(学部生・大学院生など)の方は、正会員OTとしてご参加ください。
- 近畿2府4県の各作業療法士会に所属されていない方は、非会員OTとしてご参加ください。
- 学生の方は必ず学生証をご提示ください。

会員証をお忘れなくご持参ください

平成29年8月20日

所 属 長 様

近畿作業療法士連絡協議会
第37回近畿作業療法学会

学会長 東條 秀則



第37回近畿作業療法学会の出張許可について（依頼）

謹 啓

時下、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は近畿作業療法士連絡協議会の活動に特段の御理解、御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さてこの度、第37回近畿作業療法学会を下記の通り開催することとなりました。

つきましては、貴施設の作業療法士 様 様の学会出張
に際し、格別のご高配を賜りますよう、謹んでお願い申し上げます。

謹 白

記

開催日時：平成29年10月1日（日）9：40～17：00

テ ー マ：作業を考える ～クライアントにとっての意味とは～

内 容：特別講演
教育講演
特別セッション
一般演題（口述・ポスター）

会 場：奈良県文化会館
〒630-8213 奈良県奈良市登大路町6-2

< 事 務 局 >

地方独立行政法人 奈良県立病院機構
奈良県総合リハビリテーションセンター
〒636-0393 奈良県磯城郡田原本町大字多722番地
電話：0744-32-0200

第37回 近畿作業療法学会

The 37th Kinki Occupational Therapy Congress

作業を考える

～クライアントにとっての意味とは～

会 期 ● 2017年 10月1日(日)

会 場 ● 奈良県文化会館

学会長 ● 東 條 秀 則 医療法人鴻池会 秋津鴻池病院

主 催 ● 近畿作業療法士連絡協議会

担 当 ● 一般社団法人 奈良県作業療法士会

後 援 ● 奈 良 県

奈 良 市

一般社団法人 奈良県医師会

公益社団法人 奈良県看護協会

社会福祉法人 奈良県社会福祉協議会

一般社団法人 日本発達障害ネットワーク

公益社団法人 奈良県理学療法士協会

奈良県言語聴覚士会

特定非営利活動法人 奈良県介護支援専門員協会

特定非営利活動法人 奈良県自閉症協会

奈良脳外傷友の会 あすか

奈良介護の日実行委員会

学校法人 青丹学園 関西学研医療福祉学院

学校法人 西大和学園 白鳳短期大学

一般社団法人 日本作業療法士協会

第37回 近畿作業療法学会 事務局

〒636-0393 奈良県磯城郡田原本町大字多722番地

地方独立行政法人 奈良県立病院機構

奈良県総合リハビリテーションセンター

E-mail: 37.kinki.ot@gmail.com

INDEX

実 施 要 項	1
学会長あいさつ	3
参加者の皆さまへ	4
座長の皆さまへ	7
発表者の皆さまへ	7
表彰について	10
託児室のご案内	11
会場への交通案内	13
会 場 案 内	14
日 程 表	16
プログラム	18
特 別 講 演	31
教 育 講 演	32
ランチョンセミナー	
日本作業療法士協会共同企画	39
近畿作業療法士連絡協議会 連携4事業 事業報告	40
一般演題（口述）	47
一般演題（ポスター）	97
学会特別企画	124
第37回近畿作業療法学会 実行委員一覧	125
協賛一覧	126

実 施 要 項

The 37th Kinki Occupational Therapy Congress

第37回 近畿作業療法学会

会 期 2017年10月1日(日)

会 場 奈良県文化会館

〒630-8213 奈良県奈良市登大路町6-2

TEL：0742-23-8921 FAX：0742-22-8003

学 会 長 東條 秀則

医療法人鴻池会 秋津鴻池病院

テ ー マ 作業を考える

～クライアントにとっての意味とは～

主 催 近畿作業療法士連絡協議会

担 当 一般社団法人 奈良県作業療法士会

事 務 局 〒636-0393 奈良県磯城郡田原本町大字多722番地
地方独立行政法人 奈良県立病院機構
奈良県総合リハビリテーションセンター
TEL：0744-32-0200

会場への交通案内



鉄道最寄り駅からのご案内

■ 近鉄奈良駅から

東改札口より、1番出口を出てそのまま東へ 徒歩約5分
(奈良県庁の手前、西隣です)

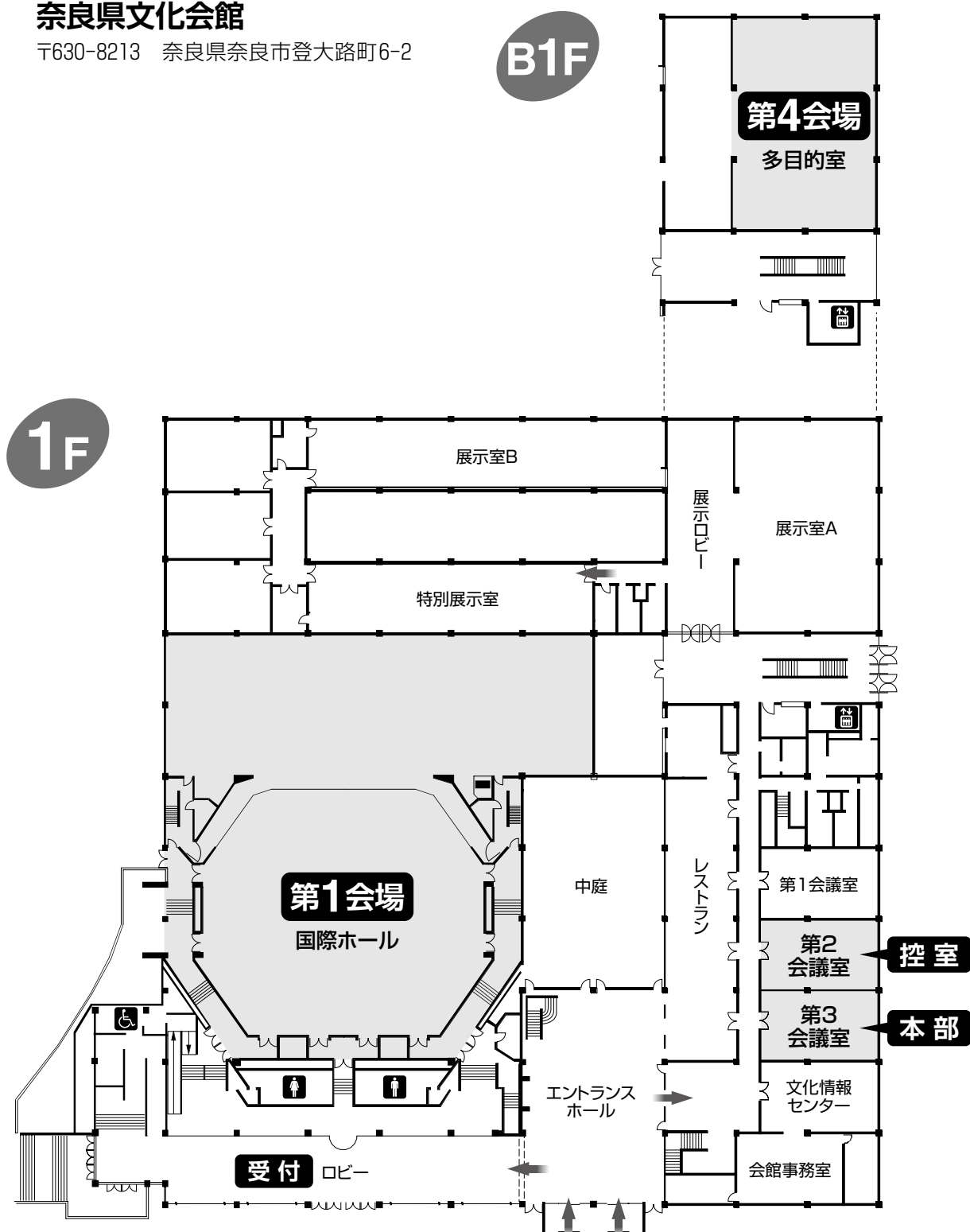
■ JR奈良駅から

東出口バスターミナルから
「奈良交通／2系統／市内循環バス(外まわり)」に乗車し約10分
「県庁前」バス停下車 西へ徒歩約2分

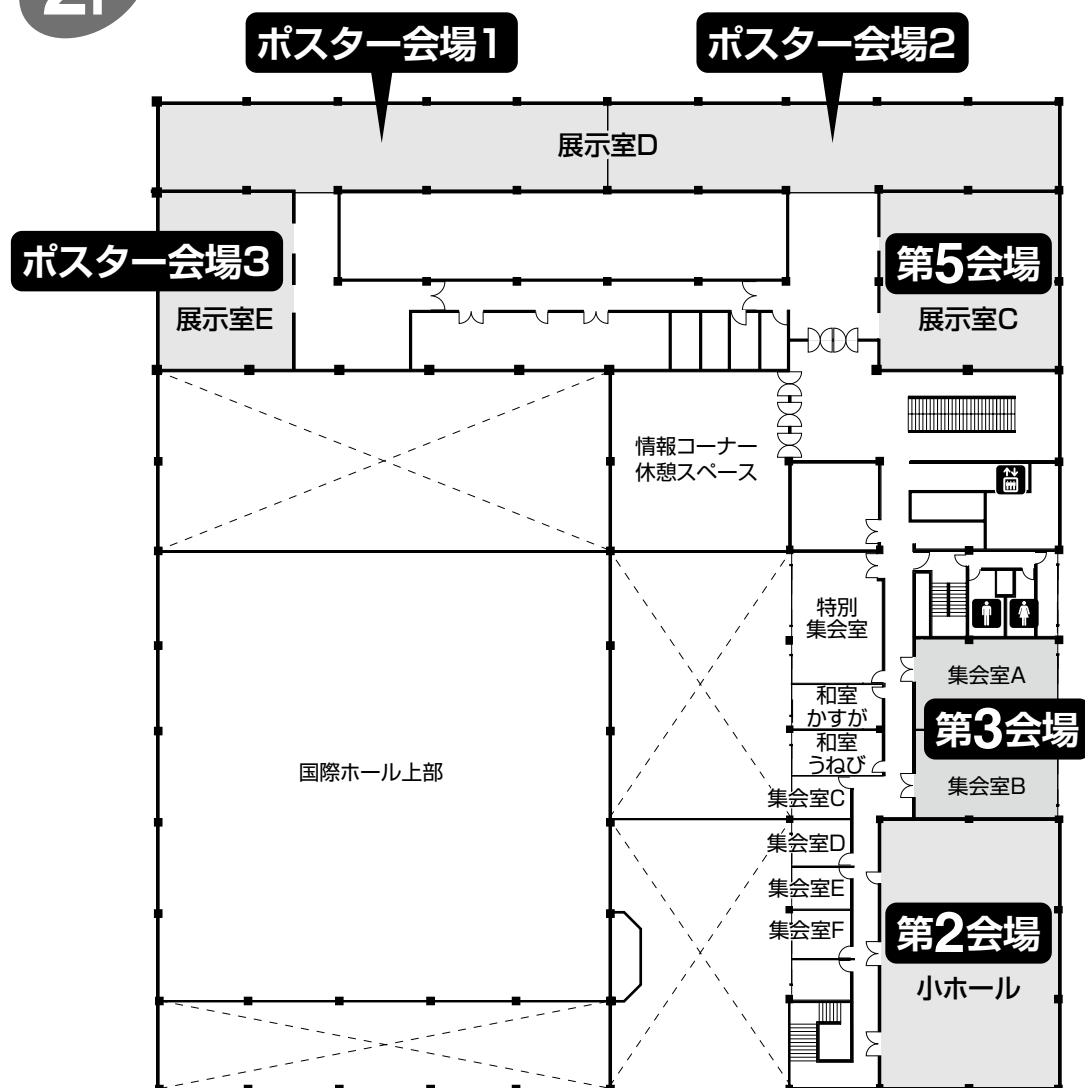
会場案内

奈良県文化会館

〒630-8213 奈良県奈良市登大路町6-2



2F



日 程 表

2017年 10月1日(日) 奈良県文化会館

	第 1 会 場 1F 国際ホール	第 2 会 場 2F 小ホール	第 3 会 場 2F 集会室 A・B	第 4 会 場 B1F 多目的室
9:00	9:00～ 受付開始			
	9:40～ 開 会 式			
10:00	10:00～10:50 口述演題1 治療の作業 O-01～05 座長：毛利 陽介	10:00～10:50 口述演題2 疾病1 O-06～10 座長：竹内 貴記	10:00～10:50 口述演題3 認知機能 (高次脳機能障害を含む) O-11～15 座長：寺尾 貴子	10:00～10:50 口述演題4 発達障害・教育 O-16～20 座長：梅谷 敬子
11:00	11:00～11:50 口述演題6 生活行為向上マネジメント O-26～30 座長：小南 陽平	11:00～11:40 口述演題7 疾病2 O-31～34 座長：寺村 健三	11:00～11:50 口述演題8 地 域 O-35～39 座長：石黒 里香	11:00～11:50 口述演題9 心理・サービス (社会・制度) O-40～44 座長：浅田 健吾
12:00		12:00～13:20 ランチョンセミナー 協会による作業療法の 定義改定について 講師：大庭 潤平 日本作業療法士協会 常務理事 神戸学院大学 司会：東條 秀則		
13:00		近畿作業療法士連絡協議会 連携4事業報告 司会：大西 和弘		
14:00	13:30～15:00 教育講演1 〔身体障害領域〕 新しい身体で 作業と結びつく 講師：齋藤 佑樹 学校法人北杜学園 仙台青葉学院短期大学 司会：北別府 慎介	13:30～15:00 教育講演2 〔老年期領域〕 生活期リハビリにおいて 意味のある作業について 考える 講師：深井 伸吾 有限会社いきいきリハビリケア 司会：辰己 一彦	13:30～15:00 教育講演3 〔精神障害領域〕 参加 ～精神科領域の 作業療法士として～ 講師：岩根 達郎 京都府立洛南病院 司会：木納 潤一	13:30～15:00 教育講演4 〔発達障害領域〕 子どもの発達は 私にとっても作業療法 講師：小松 則登 愛知県心身障害者 コロニー中央病院 司会：土井 一輝
15:00	15:10～16:40 特別講演 作業の意味を どう考えるか 講師：吉川 ひろみ 県立広島大学 司会：東條 秀則			
16:00	16:40～ 閉 会 式			
17:00				

第 5 会 場 2F 展示室 C	ポスター会場 1 2F 展示室 D	ポスター会場 2 2F 展示室 D	ポスター会場 3 2F 展示室 E	
				9:00
10:00～10:50 口述演題 5 精神障害 O-21～25 座長：大類 淳矢	10:10～10:50 ポスター演題 1 参 加 P-01～04 座長：倉賀野 藍子	10:10～10:50 ポスター演題 2 中枢神経の障害 P-05～08 座長：濱田 茉里奈	10:10～10:50 ポスター演題 3 地域・教育 P-09～12 座長：種 宏樹	10:00
11:00～11:40 口述演題 10 参 加 O-45～48 座長：千葉 亜紀	11:00～11:50 ポスター演題 4 治療的作業 P-13～17 座長：加藤 智志	11:00～11:50 ポスター演題 5 中枢神経の障害 セルフケア P-18～22 座長：後呂 智成	11:00～11:50 ポスター演題 6 精神障害・発達障害 P-23～27 座長：大谷 将之	11:00
				12:00
				13:00
				14:00
				15:00
				16:00
				17:00

プログラム

ランチョンセミナー

日本作業療法士協会共同企画 12:00～12:40

第2会場(2F 小ホール)

司会：東條 秀則(医療法人鴻池会 秋津鴻池病院)

[協会による作業療法の定義改定について]

大庭 潤平 日本作業療法士協会 常務理事
神戸学院大学 総合リハビリテーション学部

近畿作業療法士連絡協議会 連携4事業 事業報告 12:40～13:20

第2会場(2F 小ホール)

司会：大西 和弘(医療法人鴻池会 秋津鴻池病院)

[バリアフリー展]

近畿作業療法士連絡協議会 連携事業 バリアフリー展2017

岡 俊文 和歌山県士会(医療法人スミヤ 角谷リハビリテーション病院)

[災害支援対策事業]

JRAT 熊本支援活動を踏まえた今後の備え

戸松 好恵 大阪府士会(堺市健康福祉局)

[MTDLP]

生活行為向上マネジメント

林 祐樹 和歌山県士会(国保日高総合病院)

[認知症支援事業]

認知症支援チームの現状と課題

松下 太 大阪府士会(森ノ宮医療大学 保健医療学部)

教育講演

教育講演1 13:30～15:00

第1会場(1F 国際ホール)

[身体障害領域]

司会：北別府 慎介(医療法人友誼会 西大和リハビリテーション病院)

新しい身体で作業と結びつく

齋藤 佑樹

学校法人北杜学園 仙台青葉学院短期大学
リハビリテーション学科 作業療法学専攻

教育講演2 13:30～15:00

第2会場(2F 小ホール)

[老年期領域]

司会：辰己 一彦(株式会社 UT ケアシステム)

生活期リハビリにおいて意味のある作業について考える

深井 伸吾

有限会社いきいきリハビリケア

教育講演3 13:30～15:00

第3会場(2F 集会室 A・B)

[精神障害領域]

司会：木納 潤一(医療法人鴻池会 秋津鴻池病院)

参加 ～精神科領域の作業療法士として～

岩根 達郎

京都府立洛南病院

教育講演4 13:30～15:00

第4会場(B1F 多目的室)

[発達障害領域]

司会：土井 一輝(社会福祉法人 東大寺福祉事業団 東大寺福祉療育病院)

子どもの発達は私にとっても作業療法

小松 則登

愛知県心身障害者コロニー中央病院

特別講演

特別講演 15:10～16:40

第1会場(1F 国際ホール)

司会：東條 秀則(医療法人鴻池会 秋津鴻池病院)

[作業の意味をどう考えるか]

吉川 ひろみ

県立広島大学 保健福祉学部

一般演題

口述演題1 10:00～10:50

第1会場(1F 国際ホール)

[治療的作業]

座長：毛利 陽介(白鳳短期大学リハビリテーション学専攻)

- O-01** 家族とともに食卓を囲む楽しみを取り戻すために
～一事例からの座位コントロールの効果の検証～
毎熊 康太 医療法人厚生医学会 厚生会第一病院
- O-02** 姿勢調整により安楽に食事の自己摂取が可能となった1症例
～慣れ親しんだ正座姿勢で～
新井 裕生 社会福祉法人 恩賜財団 済生会京都府病院
- O-03** 早期離床から食事動作が獲得できた一例
藤本 忠寛 地方独立行政法人 りんくう総合医療センター
- O-04** 麻痺側上肢の学習性不使用から脱却を目指した症例
～「麻痺側で握手がしたい」息子との約束～
山口 史哲 平成まほろば病院 リハビリテーション課
- O-05** 慢性期脳卒中片麻痺患者に対し促通反復療法のみを実施した場合と
促通反復療法に作業療法を加えて実施した場合の
日常生活への汎化効果の違いに関する検証
安田 圭吾 社会医療法人平成記念病院 平成記念病院

口述演題2 10:00～10:50

第2会場(2F 小ホール)

[疾病1]

座長：竹内 貴記(地方独立行政法人 市立大津市民病院)

- O-06** 手指重度麻痺により mCI 療法適応外の患者に対する介入
～上肢機能訓練から mCI 療法導入まで～
今園 沙緒梨 独立行政法人 地域医療機能推進機構 星ヶ丘医療センター
- O-07** 手指伸筋腱皮下断裂術後の後療法
～早期制限下自動運動(ICAM 法)の経験～
横山 亜紀子 関西医科大学 香里病院
- O-08** 自己と他者の手の類似度による視覚的情報処理速度の違いについての検討
～事象関連電位 P300 を用いて～
上田 将也 社会医療法人清恵会 清恵会三宝病院,
大阪府立大学大学院 総合リハビリテーション学研究科
- O-09** 頸椎症性脊髄症術後患者の上肢機能に対する随意運動介助型電気刺激の試み
田淵 晃人 社会医療法人愛仁会 尼崎だいもつ病院
- O-10** 神経心理学的検査再評価により自動車運転再開に至った3症例
寺西 由紀美 医療法人仁寿会 石川病院

[疾病2]

座長：寺村 健三（和歌山県立医科大学附属病院）

- O-31** 回復期リハビリテーション病棟における
大腿骨頸部骨折患者の慢性心不全の併存が FIM に与える影響
清水 完 関西電力病院 リハビリテーション部
- O-32** 床上動作に着目した人工股関節置換術後クリニカルパスの取り組み
久保 早希子 医療法人みどり会 中村病院
- O-33** 人工股関節全置換術患者に対する急性期での作業療法士の取り組み
岩本 結花 医療法人みどり会 中村病院
- O-34** 急性期病院における多職種連携の重要性を認識できた関わり
～慢性 GVHD の症例を通して～
大西 美江 公益財団法人 天理よろづ相談所病院

[地 域]

座長：石黒 里香（介護老人保健施設ハーモニーこが）

- O-35** 「安心して帰れます。」
入院がきっかけで在宅生活の問題に介入できた一症例
谷 祐佳里 神戸医療生活協同組合 神戸協同病院
- O-36** 進行したオリーブ橋小脳萎縮症患者への環境調整の課題
小林 大作 紀州リハビリケア訪問看護ステーション
- O-37** リハビリテーション栄養は訪問現場での必須課題
～在宅で必要な意味のある栄養介入と活動へのアプローチ～
米村 真砂美 社会医療法人若弘会 日本橋老人訪問看護ステーション,
社会医療法人若弘会 わかくさ老人訪問看護ステーション
- O-38** 介護保険サービス未利用の要支援認定者に対する
自立支援のための生活機能改善プログラム
関本 充史 一般社団法人 大阪府作業療法士会,
かなえるリハビリ訪問看護ステーション
- O-39** 市町村が実施する総合事業に関わる作業療法士の役割と取り組み
上野 哲 株式会社 UT ケアシステム

P-09 地域で暮らす摂食・嚥下障害者への支援の課題
～嚥下往診前後における変化から～

寺本 千秋 紀州リハビリケア訪問看護ステーション

P-10 和歌山県での自動車運転支援に対する取り組み
～運転すんの会せんの会の立ち上げからパンフレット作成までの経過～

鍵野 将平 社会福祉法人 琴の浦リハビリテーションセンター

P-11 在宅ケアを支えるリハビリ専門職教育プログラム『コア・プロジェクト』の紹介
～文部科学省「課題解決型高度医療人材育成プログラム」採択事業～

生水 智子 大阪府立大学大学院 総合リハビリテーション学研究科,
大阪府立大学 地域保健学域 総合リハビリテーション学類

P-12 見学実習において作業療法学生が目標・尊敬する作業療法士の有無における影響

林 辰博 大阪医療福祉専門学校

P-13 MTDLP を導入し、家族と協業することで、
家族の意味ある作業と家族役割の継続に繋がった事例

米山 智彦 社会福祉法人京都博愛会 京都博愛会病院

P-14 退院後の趣味の継続を目標に、生活行為向上マネジメントを活用した一例

常深 志子 地方独立行政法人 市立吹田市民病院

P-15 食物をこぼさないための食具の選択
～「和える aeru のこぼしにくい器」を用いて～

田中 寛之 医療法人晴風園 今井病院,
大阪府立大学大学院 総合リハビリテーション学研究科

P-16 急性間質性肺炎発症後、呼吸困難への強迫的な不安から
寝たきりとなったケースへの作業療法

向井 萌 医療法人甲風会 有馬温泉病院

P-17 利き耳・非利き耳側からの聴覚刺激が姿勢制御に与える影響
～足圧中心 (COP) 総軌跡長・矩形面積・外周面積に着目して～

田丸 佳希 四條畷学園大学 リハビリテーション学部,
大阪府立大学大学院 総合リハビリテーション学研究科

[中枢神経の障害・セルフケア]

座長：：後呂 智成 (医療法人 南労会 紀和病院)

- P-18** 促通反復療法と振動療法の併用により作業の質が向上した症例
～脳梗塞後感覚異常と過緊張を呈し上肢手指機能改善を認めた一例～

山下 真美 社会医療法人平成記念病院 平成記念病院

- P-19** 当院における急性期脳卒中患者の衣服の現状

神宮司 浩之 医療法人社団甲友会 西宮協立脳神経外科病院

- P-20** 食事を摂らず、お茶ばかり飲んでしまう
全般的注意障害を顕著に認めた右半球損傷症例
～お茶を飲むという行為に意味を付与することで見られた変化について～

足達 紅美 医療法人社団仁生会 甲南病院

- P-21** 早期から ADL での麻痺手使用訓練を段階的に機能に応じて提供し
行動変容を生んだ一症例

馬淵 拓実 一般財団法人京都地域医療学際研究所 がくさい病院

- P-22** 当院における入院高齢患者の「装い」に関するアンケート調査
～「装い」を支援する作業療法介入に向けて～

松井 美夕貴 医療法人宝持会 池田病院

[精神障害・発達障害]

座長：大谷 将之 (障がい者支援センター「てらだ」)

- P-23** 精神科外来作業療法において短期間で再就労を目指す方にできること
～一症例を通して～

西谷 美保子 医療法人桜花会 醍醐病院

- P-24** 精神科外来就労支援過程において、環境因子の変化による動機づけにより、
ステップアップに繋がった一症例

那須 かがり 医療法人桜花会 醍醐病院

- P-25** 精神障害者ケアアセスメントの尺度特性の検討

清家 庸佑 はくほう会医療専門学校赤穂校、
吉備国際大学大学院 保健科学研究科 博士課程

- P-26** 重度認知症者用の新たな Quality of Life 尺度
～ Quality of Life for Severe Dementia in Residential Setting (QoL-SDR) の試作～

永田 優馬 大阪府立大学大学院 総合リハビリテーション学研究所、
医療法人晴風園 今井病院

- P-27** 重症心身障がい者とスヌーズレン
～ A さんの実践を通しての考察～

北野 真奈美 関西学研医療福祉学院

特 別 講 演
教 育 講 演

ランチョンセミナー

日本作業療法士協会共同企画

近畿作業療法士連絡協議会
連携4事業 事業報告

一般演題

口述

一般演題

ポスター

第37回 近畿作業療法学会

発行者：近畿作業療法士連絡協議会

事務局：地方独立行政法人 奈良県立病院機構
奈良県総合リハビリテーションセンター
〒636-0393 奈良県磯城郡田原本町大字多722番地
E-mail：37.kinki.ot@gmail.com

出 版：株式会社セカンド
〒862-0950 熊本市中央区水前寺4-39-11 ヤマウチビル1F
TEL：096-382-7793 FAX：096-386-2025
<http://www.secand.jp/>

